



令和6年度の主な事業

01 子ども・子育て支援

保育・教育の環境整備

- ・学校などへの冷房設備の整備
- ・老朽化した保育所の施設更新
- ・認定こども園への移行を支援

第2子以降の保育料無償化

年収や兄弟姉妹の年齢差による要件を撤廃して、第2子以降の保育料を無償化しました。



02 GX・脱炭素経済活性化

太陽光発電設備の導入

- ・太陽光発電設備の市有施設へのさらなる導入
- ・市民や民間事業者への導入支援
- ・脱炭素化推進基金の新設

都市型スノーリゾートとしての世界的なブランド化

市内スキー場の魅力アップや冬季の観光コンテンツの造成に対する補助を実施しました。



03 ウェルネス(健康)ユニバーサル(共生)

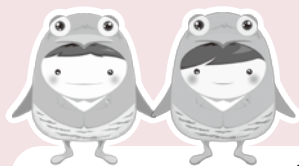
健康プロモーションの実施

若年層や働く世代などを中心に、企業と連携したプロモーションなどを進めました。



▲ほっかいどうGX大運動会ウェルネスパークの様子(2025年2月)

可決した主な意見書(概要)



意見書とは、市政の発展に必要な事柄の実現を要請するため、市議会の意思を決定して、国会や政府などに提出するものです。

国土強靱化に資する道路整備等に関する意見書

近年、我が国では気象災害が激甚化・頻発化しているほか、高度成長期以降に集中的に整備されたインフラが今後一斉に老朽化します。

今後、市民や本市を訪れる人の安全・安心を図るとともに、国内外から人や投資を呼び込む魅力と活力溢れるまちづくりを進めるためには、安定的な除排雪体制の確保や、北海道新幹線の札幌開業を見据えた札幌駅周辺の再整備、老朽化した都市基盤の更新などが求められます。

そのため、地方財政が依然として厳しく、また資材価格や人件費の高騰などに対応しなければならない中でも、防災・減災、国土強靱化に必要な予算を継続的かつ安定的に確保することが重要です。

そこで、国会および政府に対し、次の事項を実施するよう求めます。

- ①計画的かつ長期安定的に道路の整備や維持管理を進めるために必要な予算を確保すること。
- ②橋梁、トンネル、舗装等の老朽化対策や無電柱化などを着実に進めるために必要な予算・財源を、今後の資材価格・人件費高騰などの影響を適切に反映した上で確保すること。
- ③緊急自然災害防止対策事業債の延長を含めた地方財政措置制度の充実を図ること。
- ④地域の安全な暮らしや経済活動を支える道路の整備を図るとともに、除排雪を含む安定した維持管理に必要な予算を確保すること。
- ⑤道内における災害発生時の迅速かつ円滑な復旧体制の確保を図ること。

上記を含む可決した4件の意見書の全文は、市議会ホームページ(<https://www.city.sapporo.jp/gikai/html/ikensho.html>)に掲載しています。



▲意見書